



# 活躍の現場から



## 国際交流員のスキルを活かして 富山県高岡市生活環境文化部共創まちづくり課多文化共生室

### はじめに

高岡市は、本州のほぼ中央で日本海に面する富山県の北西部に位置します。市の西側は山間地域、北東側は富山湾、東側は庄川・小矢部川によって形成された扇状地が広がるなど、深緑と清らかな水に包まれたとても自然豊かな地域です。また、日本の渚百選に選ばれた雨晴海岸からは、海越しに3,000メートル級の立山連峰の大パノラマを見ることができます。

姉妹・友好都市としてブラジル・ミランドポリス市、アメリカ・フォートウェーン市、中国・錦州市があり、周年事業などを通じて交流を深めてきました。また、富山県内で2番目に外国籍市民が多い自治体でもあり、2012年3月に多文化共生プランを策定して以来、外国籍市民が地域社会の一員として共に安心して生活し、共に住みよいまちづくりを進めています。



雨晴海岸から望む立山連峰

### 国際交流員の業務

本市では1995年から英語圏の国際交流員（CIR）を任用しており、現在のCIRは11代目になります。CIRの主な業務は、通訳・翻訳業務、姉妹・友好都市との連絡、市民向け英語教室など高岡市国際交流協会の事業への協力、そのほか本市の国際・多文化共生事業への協力

になります。

現在任用中のカナダ・モントリオール市出身のウェイジア・ジュウ CIR は、英語と日本語だけでなく中国語とフランス語も堪能で、持ち前の語学力を活かして本市の国際交流・多文化共生事業で活躍しています。

### 姉妹・友好都市との窓口として

ウェイジアさんは中国語も堪能であることから、英語圏の姉妹都市や英語での連絡だけでなく、中国・錦州市との連絡も行っています。新型コロナウイルス感染症の流行以降は、例年とは異なる連絡が増える中、ウェイジアさんがいたからこそ、姉妹・友好都市とスムーズに連絡することができました。特に、万葉集の歌、全4,516首を朗唱する「高岡万葉まつり 万葉集全20巻朗唱の会」では、姉妹・友好都市と緊密に連絡し、多くの方に参加していただきました。



「高岡万葉まつり 万葉集全20巻朗唱の会」錦州市の参加者

コロナ禍が始まる前は、フォートウェーン市との交流事業でも活躍してくれました。2019年度に高校生の留学生が来たときは、通訳としてウェルカムパーティから市内バスツアーまで、留学生に寄り添って丁寧に対応してくれました。

### 地域での活動

富山県では、県および市町村に所属するJETプログラム参加者が中心となって、毎年2月ごろに国際交流イ



フォートウェーン市から来た留学生の皆さんと小学校の授業を体験しました（左端が本市 CIR）

イベント「JET 世界まつり」を開催しています。実行委員長には県庁に所属する CIR がつくことが多いのですが、今年度は本市の CIR が実行委員長となり、高岡市で開催しました。感染症対策を取りながらの開催でしたが、県内の CIR、ALT をはじめとしてさまざまな団体の方とも協力し、無事に開催することができました。多くの方にご来場いただき、普段海外の文化に触れる機会がない方にも、さまざまな文化に触れたり、体験したりしていただくことができました。

## 多文化共生事業への関わり

多文化共生事業の一つとして、本市に住む外国籍市民への情報提供を進めています。市ホームページの多言語化だけでなく、1人の外国籍市民として高岡市で暮らす



コロナ禍の中、CIR、ALT のみなさんの頑張りで JET 世界まつり 2022 を開催することができました（右上の写真が本市 CIR）



毎月 CIR が TAKAOKA Kakehashi を作成しています



Facebook では随時、情報を発信しています

CIR の目線から、大事な情報をピックアップして情報提供しています。毎月「TAKAOKA Kakehashi」という情報紙を発行しているほか、より迅速な情報提供を目指して多文化共生室の Facebook を運営しており、CIR が日本語と英語を併記することで、たくさんの人に届くよう心がけています。

## 国際交流員が高岡市にもたらすもの

本市では、外国籍市民の緩やかな定住化の傾向が見られるほか、技能実習生が急激に増加しています。このような状況を踏まえると、外国籍市民や外国にルーツを持つ人が地域社会を支える担い手となり、市民全体が共に活躍できる地域づくりが多文化共生社会を実現する上で重要な視点となります。

高岡市で暮らし、外国人の視点から本市の事業に関わり、国籍に関わらず地域と交流を行う CIR は、共に地域を支え地域で活躍する外国籍市民を体現する存在です。本市に住む約 3,400 人の外国籍市民が地域社会の一員として共に安心して生活し、共に住みよいまちとなるために、CIR が個人の能力やスキルを活かし、本市の国際交流・多文化共生の推進に貢献してくれるよう期待しています。